

---

## 寄附講座設置の趣旨

21 世紀は、生命科学とりわけ脳の世紀といわれており、世界各国が優秀な人材を擁し、それらの研究にしのぎを削っております。このような情勢のもと濱野準一氏は、脳科学、生命科学の研究を通じ、人類社会の発展向上に貢献することを目的に、2000 年 12 月に財団法人濱野生命科学研究財団を設立されました。当財団は、東京に小川脳機能研究所、神戸に 21 生命科学研究所を設置し、高次脳機能の基礎研究を中心に、生命科学全般の基礎研究とそれにもとづく応用研究を推進してまいりました。21 生命科学研究所は濱野準一氏のご逝去を契機に発展的に解消することになり、奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科の濱野準一レーザーバイオナノ科学寄附講座として 2008 年 10 月に再発足いたしました。今後ともレーザーを駆使したバイオナノの最先端研究を推進し、その成果を世界に発信するとともに応用技術開発に結実させ、人類社会の発展向上に努力してまいります。また未来に繋げる若い優秀な人材の育成を図っていきます。



中央：伊藤元濱野生命科学研究財団 21 生命科学研究所所長（左）と本学安田前学長（右）